



めざす子ども像
豊かな心を持った子
進んで学ぶ子
最後までやりぬく子

〒684-0404
 海士町福井 394 番地2
 TEL08514-2-0750
 FAX08514-2-0790
 Mail
fukui0750@gmail.com

二学期を振り返って

学校教育目標「豊かな心を育み最後までやりぬく、主体的な児童の育成」の具現化を目指して以下の四つの取組を行いました。

「豊かな心を持った子」

今年度の重点：人のためにつくす子

①体験活動の充実

海士町の「ものごと」を活用した学習に取り組みました。生活科「社会科総合」予ども議会）やクラブ活動では、地域の皆様にたいへんお世話になりました。

②人権教育の充実

いじめを「しないさせない許さない」学校づくりに取り組みました。人権週間には各学級でいろいろな取組を行いました。

③特別支援教育の充実

一人一人の教育的ニーズにあつた支援を行いました。特に、ユバースルデザインの授業作りに取り組みました。

④感性教育の充実

島前音楽会では、心をつなげて合奏や合唱を発表することができました。また、絵を描くことや俳句を作ることもがんばりました。

口進んで学ぶ子

今年度の重点：自ら問う子

①基礎学力活用力育成の取組

今学期も漢字計算大会やスキルタイムで基礎学力と活用力を高める取組を行いました。

②授業の充実

思考力判断力表現力を育てる授業の工夫を行いました。一月には二年生と五年生、二月には三年生が研究授業を行い、国語科授業の在り方を追究しました。

③学校図書館教育の充実

学校司書さんや読み聞かせボランティアさんに協力していただきながら、読書活動を推進しました。

④研修の充実

授業の力量を高めるため、坂田指導主事に授業を観ていただくとともに、外部講師をお迎えし、研修会を行いました。

最後までやりぬく子

今年度の重点：続ける子（〇〇）

①基本的な生活習慣の定着

子どもたちの学力や体力を高めるためによりよい生活習慣の定着を目指し、今学期も「チャレンジシート」に取り組みました。保護者の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。

②体力作りの充実

朝マラソンや放課後の体力づくりを工夫するとともに、体育科授業の充実を図りました。島前陸上記録会やマラソン大会では、子どもたちが自己ベストを目指して、がんばる姿があ

りました。

③食育・性教育の充実

一二月に隠岐病院 島前病院の助産師さんにご協力いただき、性についての学習事業」を行い命の大切さを学びました。

④集団作りの工夫

栽培活動や運動遊びで縦割り班活動を行う工夫を行いました。

☑学校スローガン

汗が光り笑顔が輝き 歌声の響く福井小学校」を目指してがんばりました。子どもたちがいろいろなことに本気で取り組む姿、わかつたできたという笑顔、声を響かせて歌う姿がありました。

保護者、地域の皆様には様々な面で今学期もご支援、協力いただき、ありがとうございました。三学期もよりよい学校づくりにご協力いただきますようお願い申し上げます。

文責 永海



知夫小との交流学習

一二月六日に知夫小学校五年生九名が本校を訪れ、交流を行い、三四時間目と給食をともしました。三時間目は学活ではグループエンカウンターを行いました。ハイステアライン」アドジャ」などの活動を行ったことで緊張していた様子少し和らげました。四時間目は算数科の授業で、五年生、六年生に分かれて、久しぶりの単式学級での学習を行いました。給食の時には、随分と打ち解け、大きな笑いが出るほどでした。

これまで、バスケットボール大会や陸上大会、音楽会などで顔を合わせてはいましたが、話をしたり、名前を聞き合ったりするような関わりはなかつたようです。今回の交流を通して、友だちの輪が広がったこと、知らない人への関わり方を学べたことなど大きな収穫があつたように思います。学習の位置づけで終わるのではなく、船など学校外の場で出会ったときに声を掛け合えるようになるのではないかと感じます。

今回の交流の機会を提供してくれた知夫小学校の皆さん、ありがとうございました。

今後このような交流を増やしていきよう考えていきたいです。

文責 福島



ひまわり交流学習

総合的な学習の一つのテーマである「福祉」の勉強のために、五年生が海士町保健福祉センターひまわりを訪ね、利用者の方々と交流しました。

初めは緊張していた子どもたちも回数を重ねるうちに慣れ、交流しながら掃除することでもできるようになり、最後にはヘルパー認定証をいただきました。目の前にいる相手の気持ちを考えてながら真剣に話したり行動したりして、子どもたちの姿がたくさん見られ、異世代や立場の違う人との交流の大切さを強く感じました。利用者さんからもたくさんかわいがっていただきました。ありがとうございました。

今回子どもたちがいただいたヘルパー認定証は、施設利用無料券です。ただし、その都度利用者さんの部屋をたずねることが条件となります。このつながりを大切に持っていてほしいものです。

お忙しい中、対応して下さいさつたひまわりのスタッフのみなさん、ありがとうございました。

文責 吉井



クリスマス読み聞かせ

今年も福井小にサンタクロースがやってきました！

一二月一五日木曜日。読み聞かせボランティアのチルシーさんによる「クリスマス読み聞かせ」が行われました。



ベルの演奏がありました。ベルの音色にすうーと引き込まれ、クリスマスの静かな雰囲気となりました。

(文責 兵馬)

バースデー・プロジェクト



町の保健事業「バースデープロジェクト」の学習事業において、今年度は、一二月八日に島前病院と隠岐病院の助産師さんをお招きして、五六年生を対象に命の大切さについて授業を行いました。

この日は、妊婦の志賀さんにも来て頂き、胎児の心音と児童の心音の速さを比べたり、お腹の中で育つ赤ちゃんの様子や出産の様子を劇で見たりして、一人一人が大切な命であり、先祖代々つながつて生まれてきた命であることを学びました。

実際に命に携わる仕事をされている助産師さんのお話から、子どもたちは生命誕生の大きな変容と同時に、命の尊さやあたたかさを感じていました。

(文責 山下千)

校内研究授業二年

主体性を持ち、能動的に学び合う児童の育成、国語科におけるアクティブラーニングを研究主題に掲げ、年間を通して計画的に、全学級が国語の研究授業を公開しています。

一二月九日には三年生が、説明文「すがたをかえる大豆」の授業を公開し、授業研究の場をもちました。

どうすれば、子どもたちが説明の仕方に着目しながら、興味をもつて本文に出会うことができるか。そう考えた時、本文を読む前に、自分で説明文を書いてみてはどうかと考えました。

読者目線ではなく、筆者目線で本文を読んだ研究授業当日。自分の説明文をもつとよくするたために、筆者から説明文の仕方方を学ぼう。」という事で始まりました。



そして、臨んだ研究授業当日。自分の説明文をもつとよくするたために、筆者から説明文の仕方方を学ぼう。」という事で始まりました。

まず、本文を読む前に簡単なクイズをしました。きなこ、豆腐、醤油、枝豆のうち、大豆からできていないものは何でしょうか。

枝豆は、枝豆でしょ。」と言っていた子どもたちでしたが、本文を聞いてみると枝豆も大豆であることに驚いていました。

文責 氣智澤

ノーマメディアデー

海士町の小中学校では、今年度もノーマメディアデーに取り組んでいます。

家庭の実態に合わせた目標を定めて取り組んでいたと思います。子どもたちの取り組みの様子を見ていると、ひと月ごとに、10分でもメディアの時間を減らしているよう意識していることが伺えます。

取り組みの傾向として見えてくるのは、メディア時間を0、もしくは30分までの短い時間に設定している子ほど、目標が達成できているということです。

学校評価アンケートでは、お父さんは家庭で本を読んでいますか。家庭では、テレビやゲームの時間を減らすようにしていますか。

各種コンクール結果

- 「ノーマメディアデーポスター」
最優秀賞 三年 濱田 雪乃
優秀賞 一年 池田 稔壘
三年 塔本 結



濱田雪乃さんの作品

平成29年1月の主な行事
一日(日) 元日
二日(月) 振替休日
九日(月) 成人の日
一〇日(火) 三学期始業式
二日(金) 命の参観日
三日(金) しまね家庭の日
五日(日) しまね家庭の日
一八日(水) 学校薬剤師訪問日
二六日(木) 隠岐小中学校習字展
三二日(火) 福井小複式授業公開

～おねがい～
海士町内で引っ越しをされるご家庭は、必ず役場で転居手続きを行ってください。
役場から教育委員会へ連絡が入り、教育委員会から学校に通知されます。
すでに転居した場合でも、まだ役場での手続きを行っていないご家庭がありましたら、お早めにお願ひします。(教頭 電話2-0750)

